

科学研究費「基盤研究 (C)」(研究課題番号 19K01571 代表者：有江大介) による研究集会

第 6 回「バトラー研究会」
(野原慎司准教授主宰・東京大学「政治経済学ワークショップ」との共催)

日時：2019 年 11 月 24 日 (日) 10:00~18:00

場所：東京大学 (本郷) 小島ホール 1 F・第 2 セミナー室

課題：E. Mossner *Bishop Butler and the Age of Reason* (1936) の翻訳と内容の検討

忘れられた神学者、思想家といわれる J. Butler (1692-1752) を日本だけでなく英語圏での 18 世紀研究にも復活させようというのが本研究プロジェクトの中核的課題である。共同研究の成果を日本語・英語の両言語で出版することを目指しているが、同時にその基礎作業として、今なおバトラー研究の出発点となるモスナーの標記著作の翻訳出版計画を進めている。

今回は、翻訳作業 (邦訳用語や文体の共通化、まとめの仕方ほか) の現況とスケジュールの確認と、以下の手順で研究会関係者それぞれの専門領域から見たバトラー像の共有化を行う。後者については、既に決めた各章の割り当てに即して各自がその章の紹介・コメントを行い、それに基づき意見交換を行う。

-----<当日プログラム>-----

- 10:00-10:30 翻訳作業の現況とスケジュール、出版社との交渉など (大久保正健)
- 10:30-11:00 序文/ジョゼフ・バトラー：伝記的覚書 (大久保正健)
- 11:30-12:00 第 1 章 理性という最高法廷 (松本哲人)
- 12:00-13:00 昼食休憩
- 13:00-13:30 第 2 章 教会批判の弁論 (TBA) ※
- 13:30-14:00 第 3 章 教会擁護の弁論 (TBA) ※
- 14:00-14:30 第 4 章 道徳の基礎 (木宮正裕)
- 14:30-15:00 第 5 章 理性の衰退 (野原慎司)
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-15:45 第 6 章 理性の凋落 (矢嶋直規)
- 15:45-16:15 第 7 章 バトラーの評判：18 世紀 (吉田修馬)
- 16:15-16:45 第 8 章 バトラーの評判：19 世紀 (水野俊誠)
- 16:45-17:15 第 9 章 2 世紀 (1736-1936) の後に (有江大介)
- 17:15-18:00 今回のまとめ・研究論文集の内容について・次回の打ち合わせ

※：研究会参加者への割り当て委託を速やかに行う予定

(時間の許す方は懇親会にぜひご参加ください)